

ポーツ。ラグビー、いいですよ!」それを聞きながら、「そう、ええねんなあ」思て。

次男がラグビー部でした。友達は少なかったけど、小学校の時から1人、大の親友がいて、中学になって、その子が「僕と一緒にラグビー部に入って。」「僕、嫌や。球技あまり好きじゃない。」「頼むわ。親友のために頼むわ。」入って3カ月後に転校して行ったそうです。

「なんでやねん!」「ラグビー、辛い辛い!」と言ったイメージがあるので、「ラグビーって辛いんや」と思っていたけど、ほんまに出来るようになったら、すごく楽しいスポーツやという事が分かって。フォーメーションが何十種類もあるのを組み合わせて、小さいチームがでかいチームを倒して「Giant killing/ジャイアント・キリング」(大番狂わせ・下位が上位を負かす)とか言ってね。

フォーメーションという言葉聞きながら、1つ思い出した話があります。

魚の中に、囚人魚(しゅうじんぎょ)という魚がいます。なぜこの名前かという2つの意味があります。

①この魚のデザインが白と黒の縦縞。囚人服。赤と白の横縞はラグビー日本代表チーム。

②これはものすごく臆病な魚で、卵から孵化すると、親が稚魚を自分の口の中で育てます。

口の中に納まらなくなったら出て来るのですが、広い海の中を自由にスイスイ泳ぐのではなく、サンゴ礁の根元に自然に出来た空洞の中にじーっと閉じこもって出て行かない。

海は広いのに、サンゴ礁の狭い空洞の中に何百匹も入って。

だけど、食べなきゃダメ。獲物を捜しに出て行くけど、臆病なので、1匹単独行動は絶対にしない。

何百匹、ある時は何千匹の単位で一斉にワーツと出て行く。その出て行く時に、囚人魚の群れのフォルムが巨大な魚の形になるんです。遠目で見たら、腹をすかせた巨大で獰猛な魚がワーツと泳いでいるように見えるので、「やばい」と他の魚が恐れて逃げて行ってくれる。

それがターンする時、頭の部分からリターンするんじゃなくて、突然、しっぽが頭になるんですよ。

この魚群にはリーダーがいません。それなのに、その時その時にフォーメーション、というよりも、自分の意思でそれぞれ自由に泳いでいるにも拘わらず、全体として見たら、魚の形になるような隊列を組んだ泳ぎ方になっているという魚。

ラグビーのフォーメーションでも、それを身につけるためには何十回も同じ練習をしないとイケない。でも囚人魚は、こんな泳ぎをしたら身の安全を確保できるという事を、誰からも教わってないのに自然にそうしてる。なぜそれが出来るのか? 彼らの生物としての本能の中に、その行動パターンが書き込まれているから。なので、誰かに教わらなくても自然に出来るのですが、それならば、それを書き込んだ方がいるという事になりませんか?

自然界に秩序を与え、それぞれの生き物がサバイバルできるために、非常に優れた知恵を授けておられる全宇宙・全自然界の第一原因者を聖書は神/創造主と言います。

ですから地球・自然界は神の美術館なのです。自然界を見ていたら神の作品展覧会。

実に色んな素晴らしいものがある。

だけど、神がお造りになった最高の、最も優れて崇高な、そして神のかたちに似せられて造った傑作はあなたです。人間です。神はあなたを愛の対象としてお造りになったのです。

神は私たちが罪と死から救い出すために、救い主イエス・キリストを与えてくださいました。

今日は、イエス・キリストが私たちのためにしてくださった事を考えてみたいと思います。

私の気のせいかもしれないけど 2017 年版の聖書、破れ易いです。私、もう 4 か所も破いたんですよ。そんな事ないですか？ 誰も同意しない。そうですか？ 破れますよ。だからゆっくり開いてください。

マルコ 2:1-2 数日たって、イエスが再びカペナウムに來られると、家におられることが知れ渡った。それで多くの人が集まったため、戸口のところまで隙間もないほどになった。イエスは、この人たちにみことばを話しておられた。

逆に言うと、**イエスが御言葉を話しておられたので**、人々が聖書の話を知りたいと思って、或いはイエスがなされる数々の不思議なわざ・癒し・奇跡を求めて殺到したんですね。

ついこの間、囲碁の名人位を取った芝野虎丸（しばの とらまる/1999-）さん。19 歳ですよ。史上最年少。囲碁は五目並べじゃない。本物の囲碁で、19 歳の若者が名人位取ったんですよ。お兄さんもプロ棋士で龍之介という名前。兄弟並べたら「龍と虎」やで。「龍虎」戦国時代みたい。

虎丸さんが現役名人からタイトルをもぎ取ったけど、インタビューの声、聞こえへんねん。「今のお気持ちは?」「ぼそぼそぼそ…」。喋れー! みたいな。対局中もインタビューの時も、一切相手と目を合わさない。怖いから。線の細い感じの人。

名人位ともなると、前日はベテランでも一睡もできない人が出て来るんです。睡眠不足になる。彼は 11 時間寝たと。最近の若者やって。そして、実質的に彼の頭は人工知能。人工知能の碁と戦って、人工知能のコンピューターの碁を指す。人間やのに。

それはいいとして、兄弟揃って大変強い。その理由は、幼い時から囲碁道場に通ったからです。彼らの親が『ヒカルの碁』のファンだった。『ヒカルの碁』、分かります? 『少年ジャンプ』に連載されていた囲碁の漫画。それまでは、碁というのは年配の人に愛好者が多かった。ところが『ヒカルの碁』。僕もよく行くクリニックに置いてあるので、つい。めっちゃオモロイ。霊が乗り移るという話なので、その部分は差し引きたいけど、おもしろいわ。

親が「碁はすごい! 奥が深い! 面白い! 天才になる!」。尊敬するお父さんがそう言うから、親の熱気・熱量が子供に伝染して囲碁教室に通い、プロになった。

韓国にも中国にも翻訳されて、『ヒカルの碁』を読んでプロ棋士になった人は、たくさんいるんです。この漫画はプロ棋士が監修していますが、描いている人も、できるならプロになりたかったんです。プロになりたくて、好きで仕方がないという囲碁の虜になっている人が囲碁の話をする・漫画を描く・ストーリーを語って行く。だから熱量が伝わる。本当の囲碁の魅力を知っているからでしょう。

僕は思うのですが、イエス・キリストが紹介する神・天国・救いは眠い話じゃないんですよ。先日泊りがけである所に行ったら、1 人の若者が来て「ちょっと悩み事があるんです。誰にも言わんとつてくださいね。」「うん。YouTube に上げるけど、言うてみ。」

「聖書の話を知っている時、ギリシア語でこうで、ヘブライ語でこうでって。そうや、全部正しいと思う。でもね、心に響かないんです。悩みというのは、聖書の話を知っているのに、そんな事思ったらアカンと。自分が評論家になったみたいに高みに置いて、そんなのアカンと思うけど止まらないんです。どうしたらいいんですか?」「俺もあるで。」

滅多にありませんが、特に立派な先生の話はそうですね。正しいかも分からへんけど。

「イエス・キリストは律法学者のようにではなく、権威ある者のように語った」とあるように、キリストにとって天国を語る事は、自分がいた所を紹介する事だから生々しい。

キリストの話聞いてて、ふと気づいたら、もう3時間!みたいな。心をグッとわしづかみにされるよう。だから「イエスがあそこの家におられるよ。数日間留守にしてたけど、またあの家におられるみたいだ」と、ワッと殺到して立錐の余地もなかった。ところが、人々が入る余地がない事で困る人たちも出て来んです。この町に重病を患う人がいました。

マルコ 2:3 **すると、人々が一人の中風の人を、みもとに連れて来た。彼は四人の人に担がれていた。**

中風は脳血管障害による体の麻痺。私たちは体を自由に動かさしますが、今年の5月 - 6月頃、四十肩いや五十肩で、もう痛くて。寝返り打つたびに痛みで飛び起きて、一時はどうなるかと思いました。

体が動かなくなった方の手記を昔読んだ事があるけど、「潜水服の中に閉じ込められて、海底に置き去りにされたみたいだ」と書いてありました。体のありがたいのは、自分の意思通りに動いてくれるからです。でも、その通りに動かない・言いたい事が言えない・呂律が回らない。まるで体という牢屋の中に閉じ込められて、誰も訪問しない海底に置き去りにされて、忘れ去られて行っているような気持ちだと。

この中風の人でも体が動かない状態。しかしイエス・キリストはどんな病も癒されるというので、**彼は四人の人に担がれていた**。寝台、板に乗せられて。

マルコ 2:4 **彼らは群衆のためにイエスに近づくことができなかつたので、イエスがおられるあたりの屋根をはがし、穴を開けて、中風の人が寝ている寝床をつり降ろした。**

当時の中東の家は、屋上に上がる事ができるように階段が付いていました。

イスラエルの家の屋根はコンクリートじゃないので、**屋根をはがし**というのはユンボを使ってません。木の枝を梯(かけはし)みたいにして、その上に棕櫚(しゅろ)のような面積の広い葉っぱを何枚も積み重ねてあるので、手でかき分けて屋根をはがす事が出来るんです。

日本のように重い瓦がズラッと並んでいるんじゃないので、簡単に開ける事ができる。

開ける事ができるけど、待てんか? これ。人の家の屋根。

これを「信仰的や」と思う人がいたら、自分の家とちゃうからやと思います。他人事やね。

でも、信仰は創意工夫をするんですね。「今更!」という事で吊り下げられた。それは、体に痛いところがある人は1秒でも早く治りたいからです。「今日は安息日だから明後日にせよ」ではない。

「1秒でも一刻でも早く、この人の痛みを取ってあげたい。癒してあげたい」という気持ちがあったので、4人の友人はそれをした。これは、すごい友情ですね。

ある地方に行った時、老舗の旅館で講演会をやりました。ランチ。サイドにコーヒーが自由に飲めるように沸かしてある。デザートもコーヒーブレイクも終わった。「さあ、お話しの時間です。高原さん、どうぞ。」30分くらい話して、いよいよ佳境というか、ここ!という時に、突然ですよ、後ろの扉から団体の外国人観光客がドドドと入って来て、私の前に来るんです。

何するかと思ったら、各々空のコーヒーカップを持って、ガーッと注いで、そして去って行きました。

もうね、話の腰が折れて、何を言おうと思ってたんかなと。なんか乗らない。

話しする者として、一番辛いのは横切られる事なんです。

分からん言葉でワヤワヤ喋って、ワーと出て行って。皆の心は完全にそっち。「こっち向いて!」みたいな。

イエス・キリストの話の最中に、天井に穴開いて人間が降りて来たら、話聞くよりもその人を見るんじゃない? 「ええっ?!」と。1秒でも早く治してやって欲しいという思いで彼らはそうしたのですが、**マルコ 2:5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。**今日、3つのポイントでお話します。

1) イエスは長い間病気で苦しんでいる人に、「あなたの病気は癒されました」という代わりに「**あなたの罪は赦された**」と言われました。1秒でも早く治りたい人に、なぜ肉体の癒しよりも先に、罪の赦しの宣告を語られたのでしょうか?

私たちは「病人の一番の悩みは病気だ」と先入観を持ってますよね。だけど、この中風の男性には、病気の悩み以上に、心を悩ませている問題があったんです。それは**罪**の問題。具体的にどんな罪が過去にあったのか、それは分かりません。書いてないから。

1秒でも早く治してあげたいと思ってここまでの事してくれた、親切な友情の厚い4人でも見抜く事ができない、彼の心に一番突き刺さっていた問題は病気がどうなるかではない。「罪はどうやったら赦されるんだろう。」罪の赦しがない限り、中風が治っても晴れ晴れとした人生は送れない。彼が一番欲しかったのは「大変やなあ」というお見舞いの言葉ではなく、「**あなたの罪は赦された**」という赦しの言葉だったんです。

ニューヨークは昔ジューヨークというあだ名が付いたくらい、ユダヤ人がたくさん住んでいた時代がありました。今でもそうですけど。アメリカに渡ったユダヤ人は成功者が非常に多く、その相談役として大活躍した人の中に、ユダヤ教のラビで、ハロルド・クシュナー（1935-）というラビがいます。彼の本は、いくつか日本語にも翻訳されています。

色んな実業家・不動産業者・IT関係者・芸術家など、才能きらめくユダヤ人が大成功を収め、人生の難問を抱えた時、誰を相談相手に選ぶかというユダヤ教のラビ、ハロルド・クシュナー。今まで何百人もの成功者たちのカウンセリングをして来た方。カウンセリングをした中には、たくさんのカウンセラーがいたそうです。精神分析のようなジャンルは、大抵ユダヤ人学者が多い。

何百人もの人たちの話を聞いて、彼は皆が意外な事に悩んでいると気がつきました。何に悩んでいたのか? 多くの成功した、特に男性は、父親から「誇らしいよ。さすが私の息子だ。良くやった」と肯定された事が1回もないという悩み。失敗者じゃないですよ。世間的には色んな人から肯定されているんです。「あなたのように成功した人はいません。」「あなたのようなお金持ちになった人はいません。」「あなたのようなきらめく才能の持ち主はいません。」
だけど、「いくら世間からチヤホヤされても、自分にとって権威ある者から承認を受けない限り、自分自身を認める事は難しい」と書いています。

ユダヤ人の家庭の場合、私たちもそうかもしれませんが、やっぱり父親です。お父さんが、「良くやった! さすが私の息子だ/娘だ。お父さんの誇りだよ!」と言ってくれたらいいのに。言ってもらおうと一生懸命やったけど、遂にその言葉を聞くことなく死別してしまって、そして自分の価値を確信する事ができない人が何と多いことか。
ハロルド・クシュナーさんの解決策は「肉親の父ではなく、イスラエルの神を父として仰げ!」なんです。

全宇宙をお造りになった権威ある神から「わたしはあなたを愛している。」
だけど、自分の中にのっぴきならない過去があって、苦々しい事件があって、もし罪の問題が残ったまま

なら、「愛してる」と言われても、愛されている実感を持つ事は難しいのではないのでしょうか。キリストはここで権威ある者の言葉として「子よ」。まるで、お父さんが息子に語りかけるみたいですね。「子よ、今まで辛かったなあ。しかし、よく聞きなさい。あなたの罪は赦されている。」

これは、自分で自分を納得させているのではなく、権威ある方からの一方的宣言として、罪の赦しを聞く必要があるんです。人間の罪を赦す事ができるのは神だけです。

神しか語る事ができない言葉で「子よ、あなたの罪は赦された。」

これを聞いた時「初対面なのに、どうしてイエスは私が一番悩んで、つかえている部分を見抜く事が出来たんだろう？」このタイミングで一番言って欲しい言葉をドンと宣言された時、嬉しかったと思います。「その言葉を待ってました！」赦しの宣言を語って下さった。

この一番の解決がない限り、肉体の病気が治っても、人生を解決した事にはならない。内側のつかえが取れたら、体のコンディションまで影響を受けるんじゃないですか？キリストは私たちをトータルで、全人格的に癒してくださるために、最も大きな障害である罪の問題を解決するために来てくださったんです。

2) マルコ 2:6 ところが、律法学者が何人かそこに座っていて、心の中であれこれと考えた。

ぎゅうぎゅう詰めで皆立ってて、それ以上入れない時に、座っとる奴がおります。座っている人。今は座っていただいていいんですよ。「立て」と言っているんじゃないありません。律法学者はイエスを好意的に見ていないんです。

マルコ 2:7-10 「この人は、なぜこのようなことを言うのか。神を冒瀆している。神おひとりのほかに、だれが罪を赦すことができるだろうか。」

彼らが心のうちでこのようにあれこれと考えているのを、イエスはすぐにご自分の霊で見抜いて言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんなことを考えているのか。中風の人に『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け』と言うのと、どちらが易しいか。しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために—。」そう言って、中風の人に言われた。

ここから癒しが始まって行くのですが、僕はここで少し考えてみました。『ドラえもん』では、困った事があったらドラえもんに頼んで、不思議な道具や便利な道具を出してもらって問題解決。そして、後でしっぺ返しを食らう。

ここの箇所から「もし今、私自身が神のような能力を手に入れる事が出来たら、私はどんな人になるだろう？」ちょっと想像してみました。

イエスは人々が何にも言わなくても、心の中で考えている事が全部分かる。

神のように、人々が心の中であれこれ考えている事を全部見抜く能力が私にあったら、多分、人を愛する事が出来なくなると思います。例えば、皆さんの心が今全部見える。「はよ、終われや」とか「南アフリカ共和国との戦い、待ってんねんぞ」とか。言っていないだけ。

神のように人を屈服させる権威を持っているなら、私はどんな人格になるだろう？ 大抵パワハラやる人は権威を嵩に懸かる。新入社員でパワハラやる人、います？ 上司がやる。嫌や言うてんのに、カレーを目に塗ったり。どっかの小学校の先生が。

もし神のように、あらゆる難問について最高の答えが瞬時に分かるような能力を持っていたら…。

簡単に分かる問題でくよくよしたり、どうしたら・ああしたら、もう悩んで、その結果、最悪の選択をし

ている人間を見た時、「人って愛らしいなあ」と思うより「あほちゃうか」と。

神のように優れた能力を、この人格のまま持ち合わせたら、私は人に仕える人ではなく、小馬鹿にする人になるんじゃないかと思うんです。愛する事なんかできないと思います。

人間の心の底に横たわっているものがどんなに醜いか、という事がバシバシ分かって来たら、人間嫌いになって、「もう関係切りたいわ!」と思うんじゃないですか?

イエス・キリストはご自分の霊で、反発する人たちの心・葛藤している者たちの叫び・愚かな選択をしてしまう・罪にとらわれている人々の、愚かな人生の有り様を全部見ているけれど、「もう嫌になった!」と投げない。それでも、人に仕えていくというこのご人格。

神の能力を持ちながら、誰よりも謙遜であるところに、私はイエス・キリストの凄みを感じるんです。

こんな人格になりますか? 人間が神の能力を持ったら、鼻持ちならない人間になるんじゃないですか? しかし、イエスは反発している人々にも「**人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたが知るために**」と言って、

マルコ 2:11-12 「あなたに言う。起きなさい。寝床を担いで、家に帰りなさい。」

すると彼は立ち上がり、すぐに寝床を担ぎ、皆の前を出て行った。

それで皆は驚き、「こんなことは、いまだかつて見たことがない」と言って神をあがめた。

キリストはここで奇跡のわざを行いました。なぜそんな事が出来たのか? ご自分が**地上で罪を赦す権威を持っている**。すなわち、神の権威を持っている。

人となられた神である事を示すために、神でなければ出来ない事をなされたのです。

私たちは自分が作った作品が壊れたら修理する事が出来ますね。神は私たちの作者なので、壊れている自分の作品を修理する事は簡単に出来ます。この奇跡をもって、キリストは作者であると証しをなさっているのです。

ここで大事なのは、病気を治すのには神の力を使いましたが、罪を赦すのには、ご自分のたった1つしかない命をお使いになったという事です。

人々は言いました。「**なぜこのような (神にしか出来ない) ことを言うのか。神を冒瀆している。**」

しかしイエスは「**『あなたの罪は赦された』**と言うのと、『**起きて、寝床をたたんで歩け**』と言うのと、**どちらが易しいか。**」言うだけなら、罪の赦しの方が簡単です。赦されたかどうか分からないから。

「**歩きなさい**」と言っても歩けなかったら、それは権威がないという事になりますよね。

キリストは神の力で壊れた人を簡単に治す事が出来る。しかし、聖い神様は正義を曲げる事が出来ないのので、罪人の罪を赦すためには、代わりに罰を引き受ける方が必要なのです。

「わたし自身がその罰を引き受けよう」と、神なのに人としてこの世界に来てくださった方がイエス・キリストです。キリストはあなたのために、あなたの罪を背負って十字架にかかり、代わりに罰を引き受けてくださいました。そして墓に葬られ、3日目に復活してくださったのです。

3) 神様が一番喜ばれる事は何か?

マルコ 2:5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。

彼らとは4人の友人の事だと思っていたのですが、よくよく考えたら、4人の友人だけではなく、中風の人も入っているのではないかと思うのです。他の人の信仰に強められながら、励まされながら。

